

一九五四年六月五日
發行



第37卷 第3号

史学・地理学・考古学

明代蘇松地方の士大夫と民衆……………宮崎市定(1)
——明代史素描の試み——

美術史の自律について……………中村二柄(34)

法王と法王官職……………滝川政次郎(63)

資料紹介

京都府竹野郡網野町小浜・岡
古墳調査略報……………樋口隆康(81)

書評

金沢誠：フランス史……………豊田堯(84)

J. E. Spencer : Land and People in the Philippines.
——Geographic Problems in Rural Economy.——……………木村宏(85)

学界消息

史学研究会

京都大学文学部内

京都大学文学部東洋史研究室
東洋史研究会
振替口座京都三七八

に、就逮時。將所屠樓閣三楹。尽行焚毀。蓋生平寶藏。咸集於此。と記されている。

⑫ 祝允明の子注疏復興論。全集十一頁孝私議。宜令學者。兼習註疏。同十二答張天賦秀才書。僕勸足下宜尋十三經註疏。窮之當自有得（中略）。若患橫外無此書籍。幸力致之。同十學壞於宋論。我太祖皇帝（中略）令學者治經。用古註疏。參以後說。而士不從也。

⑬ 張溥の五經註疏大全合纂について。明史芸文志に詩經註疏大全合纂三十四卷を著録するが、復社記事によると、五經疏大全の名が見えるから他の四經も出来上つていたのであろう。なお拙稿「四書考証学」（石浜先生還曆記念論文五）を参照。

⑭ 松江の幾社については南吳旧話録廿三名社の条を参照。又同書二〇杜仁趾の条に言う。吾与周勸齒輩。創為幾社。相期經世大業。とあるを見れば、幾社も単なる文社でなく、政治結社になつていたことが知られる。

六⑯ 文社の排他性に対する非難。南吳旧話録廿三夏考功の条に言う。幾社非師生。不同社。或指此為朋党之漸。苟出而仕宦。必覆人家園。また一人の条に言う。每吾無繇入社。

⑰ 民抄董宣事實は巻首と共にその年月を失し、明史董其昌伝には全くこの事実を載せないが、万曆実録五四六（万曆四十四年六月庚子朔）にその記載見え、巡撫応天都察院副都御史王忬麟の報告がある。同報告中に崑山周玄暉の溼林統記から起つた事件を併せ伝えているが、これも士大夫が火付け役で最後には士民

明代蘇松地方の士大夫と民衆（宮崎）

合せて五百餘人の暴動になつてゐる。

⑱ 打行はまた打降とも書く。天下都鄙利誘書二〇に引く万曆嘉定県志を始め、雍正硃批諭旨の各處にその名が見える。消夏閑記摘抄上打降に言う。許訟者。兩造各有生員具公呈。聽察之日。又各有打降保護。故曰打降之降。乃行非降也。善拳勇者為首。少年無賴。屬其部下。聞呼即至。如開行一般。故謂之打行。

「史林」バックナンバーについて

現在在庫中のバックナンバーは左記の通りです。御希望の方は当会宛お申込下さい。

第四卷第四号、第五卷第一一四号、第三三卷第一号、第二号、第五号、第六号、第三四卷第一、二合併号、第三号、第四号、第三五卷第四号、第三六卷第一一四号、第三七卷第一号、第二号、名簿（廿八年十月）。

頒価 各一冊百円、但し第三四卷第一、二合併号のみ百四十円、名簿は三十円

⑮ 令義解、卷一職員令には、「大外記二人。掌、勘、詔奏」、及「申公文」、『勘署文案』、檢「出番失」。少外記二人。掌同「大外記」とあり、官職秘抄、上卷大外記の条には、「往年多以文章生任之」とある。

⑯ 拙著『人物新日本史』古代篇、第四道鏡参照。

⑰ 類聚三代格、卷三國分寺事、国史大系本、四五四頁。

⑱ 類聚三代格、卷三國分寺事、国史大系本、四五五頁及び政事要略、第五十五交替雜事、史籍集覽本、四二〇頁。

⑲ 久米邦武『奈良朝史』五六三頁。

⑳ 統紀卷廿九神護景雲二年七月辛丑条及び類聚三代格、卷十秩奠事、国史大系本、七二三頁。

㉑ 本朝文粹、卷二意見封事、増訂国史大系本、四一頁。

㉒ 日本書紀、卷廿九、天武天皇六年六月条。

㉓ 新撰姓氏録、卷廿二、右京諸蕃上には、「坂上大宿禰、後漢靈帝男延王之後也」とあり、又統紀卷卅二宝龜三年四月庚午の条には、坂上苅田麻呂が大和国高市郡楡前村に住む東漢の一族を代表して、高市郡の郡司の事について奏言を行ったことが見えてい

會員移動 (一)

- 住所変更
- 池田源太
- 石田善人
- 江上波夫
- 小江慶雄
- 木阪 登
- 北川三郎
- 小島小五郎
- 鯖田豊之
- 竹松定雄
- 田中邦芳
- 時野谷勝
- 中村一良
- 野田只夫
- 馬場憲三
- 東伏見慈治
- 福尾猛市郎
- 松田 信
- 御手洗勝
- 宮川善造
- 森 杉夫

に充分触れず、また各地区における土地所有問題がいかに (realities) に不合理をあたえいてるかという点が看過されているのは遺憾である。

しかし、群馬の地域性をより具体的に表現

せんと各項目にわたり綿密な調査を続け、丹念にデータを整理、駆使された著者の努力には敬服の外はない。本書がまた総合的な比較研究にとつて好適な資料たることは言を俟たない。

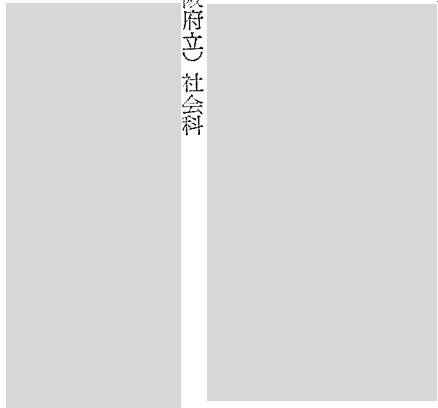
本書を一九五三年九月購入され、直ちに通読を許された大阪市立大学経済研究所の御好意に対し、紙面を借りて厚く感謝の意を表する。

— 木村 宏 —

会 員 移 動 (一)

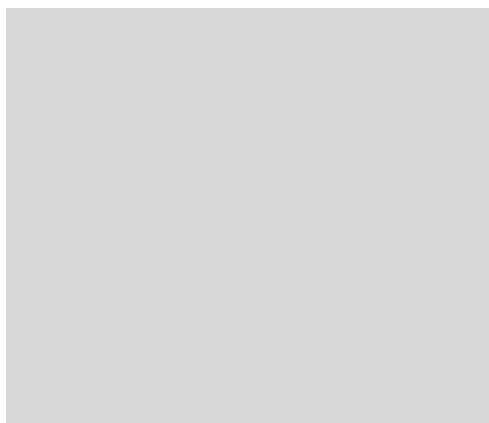
新 入 会 (復活会員を含む)

青木和夫 石田明夫 井上一男 上田早苗 大月明 益重隆 小野信爾 柏尾洋介 春日丘高校 (大阪府立) 社会科 勝藤猛 川上隆 北野耕平 雷野炳南 窪田鉄三郎 熊本商科大学



熊本第一高等学校図書館
熊本短期大学

国府千鶴子 坂井学 佐々木次郎 島田正彦 高田正成 圭室澄 田村美 中川昭吾 野山雄一 服部昌一 平原定海 村井康彦 山根幸武



古美術の美しさ

それが手のとどかぬ遠くにあつても
自由に皆様のものにするのが
コロタイプ印刷です
「雲岡石窟」「慶陵」を再現したのも
弊社のコロタイプ印刷です

重要美術原本複製
学術図書出版印刷

真陽社 京都下京区油小路綾小路下
写真製版 印刷 電話 (5) 1982番
コロタイプ印刷

中村友吉

編集後記

美わしい五月も残り少なく、昨年の水魔の跡も癒えぬ国土に今年もまた梅雨が訪れようとしています。国民大多数の良識と希望をよそに政治の空白と逆コース調が敷かれ、世はあげて不景気で政治悪・社会悪に対する鬱憤も酒をあおるといふ月並な手段では晴らせない不自由な時代になりました。ここに三七巻三号をお届けします。かくて理想としての隔月刊も、会員各位の並々ならぬ御支援によりまして、予定通り順調に進んでいます。ただ一言、一〇〇頁を建前とする本誌が、本号に限り九二頁になったことをお詫びします。なお今後共若さにあふれた当編集委員会に対しまして暖い御批判と御助言を賜りますようお願いいたします。

(末尾)

一九五四年六月一日 印刷
一九五四年六月五日 発行

定価 百円

史林 (第三七巻、三号)

京都市左京区吉田本町
京都大学文学部内

発行所 史学研究会

振替大阪一四五五六番

京都市下京区七条御所ノ内東町三九

印刷所 中村印刷株式会社

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XXXVII, NO. 3

Jun. 1954

CONTENTS

Articles:

Gentry and People in Su-Sung (蘇松) District during
the Ming (明) Dynasty *I. Miyazaki* (1)

Some Remarks on the Autonomy of Art History
..... *N. Nakamura* (34)

Short Notices:

Hō-ō (法王) and Hō-ō Gushiki (法王宮職) ... *M. Takigawa* (63)
— A Study of Dokyō (道鏡) —

Reports on the Excavation of Oka (岡) Sites, Obama (小浜),
Aminocho (網野町), Takenogun (竹野郡), Kyoto (京都)
Prefecture..... *T. Higuchi* (81)

Book Reviews & News

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI
(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan